

シューマン・クアルテット



Schumann Quartett

2013年ボルドー・コンクール優勝

エリック・シューマン率いる気鋭の弦楽四重奏団、第一生命ホール初登場!!

ハイドン:弦楽四重奏曲第79番 ニ長調 Op.76-5 Hob.III-79「ラルゴ」

F.J. Haydn: String Quartet No.79 in D major Op.76-5 Hob.III-79 "Largo"

アイヴス:弦楽四重奏曲第2番

C. Ives: String Quartet No.2

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第14番 嬰ハ短調 Op.131

L.v. Beethoven: String Quartet No.14 in C sharp minor Op.131



2014年11月30日(日)14:00開演

一般¥4,000/シニア¥3,000(60歳以上)/ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)

※他セット券あり(詳細については裏面をご覧ください)

©2014年6月12日(木)発売開始(発売初日のみ10:00~)

トリトン・アーツ・ネットワーク・チケットデスク

03-3532-5702(平日11:00~18:00) <http://www.triton-arts.net>

ホームページからは座席を選択してご予約いただけます。

チケットぴあ(一般、シニア、ヤングのみ取扱い) <http://pia.jp/> [Pコード:231-355]

第一生命ホール

都営地下鉄大江戸線「勝どき」駅A2a出口 徒歩8分

主催: NPO TRITON ARTS NETWORK | 第一生命ホール
特定非営利活動法人 トリトンアーツネットワーク

協賛:第一生命保険株式会社

※表示価格には消費税を含みます。※やむを得ず演奏曲目、曲順、出演者が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。※未就学児の入場はご遠慮頂いております。



シューマン・クアルテットからのメッセージ

ベートーヴェンの弦楽四重奏曲嬰ハ短調は、私たちシューマン・クアルテットが本当に大好きな作品です。私たちの師が、すべての弦楽四重奏作品の中の「最高峰」と呼ぶベートーヴェン晩年の傑作であり、音楽史上最も深遠な作品の一つです。

この曲を演奏するたびに、別世界にいるような、それでいて、人間の心の中心部にダイレクトに連れて行かれるかのような感覚を覚えます。また別の表現をすると、まるで神が人間に話しかけるのを聞いている証人のように感じるともいえるでしょう。皆さまよくご存知のように、音楽、特にこの作品について、言葉で説明するのは非常に難しいことです。この感覚はコンサートでのライブ演奏でしか体験することができないもので、それに代わる方法や機会はありません。これが唯一の特別な瞬間となることでしょう。

私たちのお気に入りの作品の一つで、偉大なる作曲家であり弦楽四重奏の祖父ともいえるハイドンの書いた弦楽四重奏曲ニ長調、そして、昨年優勝したフランスのボルドー国際弦楽四重奏コンクールにおいて挑戦した思い出の曲であるチャールズ・アイヴスの弦楽四重奏曲第2番とともに楽しみください。

シューマン・クアルテット Schumann Quartett

エリック・シューマン(第1ヴァイオリン) Erik Schumann, 1st Violin

ケン・シューマン(第2ヴァイオリン) Ken Schumann, 2nd Violin

リザ・ランドル(ヴィオラ) Liisa Randalu, Viola

マーク・シューマン(チェロ) Mark Schumann, Cello

2007年にメンバーの本拠地である独ケルンにて結成。第1ヴァイオリンのエリック・シューマンをリーダーとし、その弟であるケン・シューマンが第2ヴァイオリン、マーク・シューマンがチェロを担当。シューマン・クアルテットの名前は、作曲家シューマンに対する敬意だけではなく、兄弟のファミリー・ネームに基づいている。ヴィオラはアルメニア出身のリザ・ランドル。メンバーそれぞれがソリストとして国内外の国際コンクールで優勝・入賞を重ねている、期待の若手奏者たちである。

2011年パオロ・ボルチアーニ・コンクール(イタリア)入賞、大阪国際室内楽コンクール第2位を経て、2012年シュベルト&現代音楽国際コンクール(オーストリア)にて優勝。さらに2013年ボルドー国際弦楽四重奏コンクール(フランス)にて優勝を飾る。

クアルテットとして現在ケルン音楽大学にてハラルド・ショーネヴェーグ(ケルビーニ・クアルテット)に師事。またマドリードのソフィア王妃音楽大学



にてギュンター・ピヒラー(元アルバン・ベルク弦楽四重奏団リーダー)に師事。またH.ミューラー、E.フェルツ、元アルバン・ベルク弦楽四重奏団メンバーから貴重な指導を受け続けている。

2013年4月にデビューアルバム「シューマン・クアルテット ベートーヴェン／バルトーク／ブラームス」をリリース(独Ars)。ますます今後の活躍に注目が集まっている期待のクアルテットである。

<http://www.schumannquartett.com>(英・独語のみ)

●クアルテット・ウィークエンド2014-2015シーズン 単独券・セット券 6月12日(木)発売開始 (発売初日のみ10:00~)

公演日時	公演名	プログラム
9月27日(土) 14:00 レクチャー 14:45 本公演	古典四重奏団 ムズカシイはおもしろい!! ~古典四重奏団のモーツァルト全曲2014の1	モーツァルト: 弦楽四重奏曲 へ長調 K158(第5番) 弦楽四重奏曲 変ホ長調 K171(第11番) 弦楽四重奏曲 へ長調 K590「プロイセン王四重奏曲第3番」(第23番) 弦楽四重奏曲 変ロ長調 K458「ハイドン四重奏曲第3番“狩”(第4番)」(第17番)
10月10日(金) 19:00 レクチャー 19:20 本公演	古典四重奏団 ムズカシイはおもしろい!! ~古典四重奏団のモーツァルト全曲2014の2	モーツァルト: 弦楽四重奏曲 変ロ長調 K159(第6番) 弦楽四重奏曲 変ロ長調 K172(第12番) セレナーデ ト長調 K525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」 弦楽四重奏曲 イ長調 K464「ハイドン四重奏曲第5番」(第18番)
10月26日(日) 14:00 レクチャー 14:45 本公演	古典四重奏団 ムズカシイはおもしろい!! ~古典四重奏団のモーツァルト全曲2014の3	モーツァルト: 弦楽四重奏曲 変ホ長調 K160(第7番) 弦楽四重奏曲 二短調 K173(第13番) 弦楽四重奏曲 二長調 K499「ホフマイスター」(第20番) 弦楽四重奏曲 八長調 K465「ハイドン四重奏曲第6番“不協和音”」(第19番)
11月30日(日) 14:00	シューマン・クアルテット 2013年ボルドー・コンクール優勝 エリック・シューマン率いる気鋭の弦楽四重奏団	ハイドン:弦楽四重奏曲第79番 二長調 Op.76-5Hob.III-79「ラルゴ」 アイヴス:弦楽四重奏曲第2番 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第14番 嬰ハ短調 Op.131
2015年 2月14日(土) 14:00	エルデーディ弦楽四重奏団 ~弦楽四重奏のみに託された ベートーヴェン最晩年の高貴なるメッセージ	オール・ベートーヴェン・プログラム 弦楽四重奏曲第12番 変ホ長調 Op.127 弦楽四重奏曲第14番 嬰ハ短調 Op.131
2015年 3月15日(日) 14:00	クアルテット・エクセルシオ ~Quartet+(プラス) 共演:小坂圭太(ピアノ) 柳瀬省太(ヴィオラ) 遠藤真理(チェロ) 石川滋(コントラバス)	ハイドン:弦楽四重奏曲第38番 変ホ長調 Op.33-2Hob.III-38「冗談」 シュベルト:ピアノ五重奏曲イ長調 Op.114 D667「ます」 チャイコフスキー:弦楽六重奏曲 二短調 Op.70「フィレンツェの想い出」

チケット料金 (全席指定・消費税込)

SQW6公演セット券: 一般¥21,000/シニア¥15,000(60歳以上)

単独券: 一般¥4,000/シニア¥3,000(60歳以上)/ヤング¥1,500(小学生以上、25歳以下)

◎ご予約・お問い合わせ: トリトン・アーツ・ネットワーク・チケットデスク TEL: 03-3532-5702 (平日11:00~18:00)

・古典倶楽部会員特典の割引販売につきましては、古典倶楽部よりメール等でお知らせします。
・3/15クアルテット・エクセルシオ公演につきましては、「クアルテット・エクセルシオ結成20周年記念通し券・セレクト券」対象公演です。
詳細は、ミリオンコンサート協会(TEL:03-3501-5638)までお問い合わせください。

アクセス



◇都営地下鉄大江戸線「勝どき」駅A2a出口 徒歩8分

◇都営バス「都03」系「都05」系「晴海トリトンスクエア」下車 徒歩4分
「錦13甲」系「晴海区民館前」あるいは「晴海三丁目」下車 徒歩6分

◇晴海ライナー(路線バス) 晴海トリトンスクエア〜有楽町駅〜東京駅八重洲北口(循環経路) 「晴海トリトンスクエア」下車 (1F直結)

◇有料駐車場あり

特定非営利活動(NPO)法人 トリトン・アーツ・ネットワーク(TAN)とは

音楽活動を通じて地域社会に貢献するNPO法人です。東京都中央区晴海・トリトンスクエア内にある第一生命ホールを拠点とし、ホールの主催公演である芸術活動と、周辺地域を中心としたコミュニティ活動を2本の柱として、会員とサポーター(ボランティア)、寄附者の支えを受けて実施しています。